

平成 21 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	地殻流体：その実態と沈み込み変動への役割	
領域代表者名	高橋 栄一 （東京工業大学・大学院理工学研究科・教授）	
研究期間	平成 21 年度～ 25 年度	
<p>【科学研究費補助金審査部会における所見】</p> <p>本研究領域は、地震発生・火山活動等に重要な役割を果たすと考えられる地殻流体の起源・実態・役割を解明するために、観測・実験・数値計算・化学分析などを有機的に結びつけることによって、沈み込み帯における Geofluid Map の作成及び Geofluid Dynamics の創成を目指そうとするものである。近年、地殻流体の重要性は世界的に認識されるようになってきたものの、地震発生やマグマ火山活動などの変動現象に対して、どのような地殻流体がどのように関与しているのかについてはまったく未解明のままである。このような課題に正面から取組もうとする本研究領域の設定は時を得ており、世界最高水準にある我が国の地震波観測や電磁気観測、高圧物性及びレオロジー実験、地球化学分析、地殻流体の挙動に関する数値計算等の分野をさらに発展させることが期待できる。また、そうした諸分野をひとつに束ねた学際的かつ総合的な取り組みを行うことは新たな学術領域の創出にもきわめて有意義である。沈み込み帯に位置する日本がこのような課題に取り組むことには学術的必然性があり、その優位性を活かすことにより、沈み込み帯における変動現象の理解が格段に進むことが期待される。</p>		